

第3回 七宝北中学校地区委員会
会議録

開催日時	平成30年3月15日(木) 午後2時 ~午後3時30分
開催場所	美和総合福祉センターすみれの里 2階 集会室
出席委員	七宝小学校関係：佐藤典子(運営協議会委員) 宝小学校関係：水野文男(評議員) 田口健次郎(P T A代表) 秋竹小学校関係：賀島 美恵子(校長) 大西純滋(評議員) 篠田小学校関係：飯田康正(校長) 宮地正耕(評議員) 原 貴子(P T A代表) 美和東小学校関係：横江由美(校長) 北浦美樹委員(P T A代表) 七宝北中学校関係：中野義彦(校長) 糸野俊弘(評議員) 宮地砂稚(P T A代表) 一般公募関係： 小澤 勝・春木良美 前委員長： 溝口 紘
欠席委員	木全委員・亀山委員・伊藤委員・鈴木委員
出席者	松永教育長、木村教育部長、萩野教育次長、三輪学校教育課長、内山主幹、後藤主幹
傍聴人	7人
議事日程	(1) 七宝北中学校選択制について ア. 学校選択制について イ. 七宝北中学校選択可能区域について (2) 七宝北中学校選択にかかる課題について

委員長	<p>本日は、ご多忙のところ、ご出席賜りましてありがとうございます。ただいまより、あま市立小中学校適正規模等に向けた検討委員会 第3回七宝北中学校地区委員会 を開会します。</p> <p>それでは、最初に、市教育委員会を代表しまして教育長よりごあいさつをお願いします。</p>
教育長	<p>失礼いたします。本日はお忙しい中、委員の皆様方全員参加いただきありがとうございます。第3回七宝北中学校地区委員会にお集まりいただきありがとうございます。今年度については学校選択制ということについて2回の委員会を進めてまいりました。今日はいままでの確認と今後の課題等について委員の皆様方のご意見をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本委員会の議事録を市のホームページで公開するため委員会の内容を録音させていただきますので、ご了解くださいますようお願いいたします。また、本委員会は、1時間半程度の時間を予定していますので、午後3時30分までを目途として進めていきたいと思っております。議事進行にご協力をお願いします。今回は、委員の皆様から出していただきました質疑につきまして事務局より説明をしていただきます。</p> <p>それでは、「議題（1）七宝北中学校学校選択制について」に入ります。</p> <p>この件につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>「議題（1）七宝北中学校学校選択制について」資料1について説明。</p> <p>ア．学校選択制の種類の説明。</p> <p>イ．七宝北中学校選択可能区域について説明</p> <p>学区選択制については、特定地域選択制。選択可能区域については、七宝小学校区・美和東小学校区・篠田小学校区。導入予定年度は平成32年度。と説明。</p>
委員長	<p>ただいまの事務局の説明に対しまして、何かご質問・ご意見はありませんか。ご質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。</p>
各委員	<p>発言なし。</p>
糸野委員長	<p>原案どおりでよろしいでしょうか。</p>
大西委員	<p>異議なし。</p>
糸野委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、原案どおりとさせていただきます。</p>

委員長	それでは、(2)「七宝北中学校選択にかかる課題について」に入りたいと思います。事務局より説明をお願いします。
学校教育課長	「議題(2)七宝北中学校選択にかかる課題について」資料2について朗読。説明。 【実施時期】 新年度入学時のみ 【対象者】 七宝小学校・篠田小学校・美和東小学校区に居住する新1年生で、七宝北中学校を希望する者。ただし、保護者の責任において、生徒が通学でき、指定学校変更願申請書を提出期限内に提出した者。 【七宝北中学校を選択できる地区】 下記の地区において、七宝北中学校を申請希望する事ができる。申請しない場合は指定学区の中学校とする。その他、申請方法・受入枠等を説明する。
委員長	ただいまの事務局の説明に対しまして、何かご質問・ご意見はありませんか。ご質問やご意見のある方は、挙手をお願いします。
委員	確認ですが、資料3の最大受入枠というのは、1年生に57人が入れるということですか。
主幹	そうです。
委員	その時の、学級数は3クラスということですね。
主幹	そうです。
委員	受入枠としては、1クラスだよね。
学校教育主幹	そうです。
委員	合計したら3クラスとなることですね。
学校教育主幹	そうです。
委員	基本的には、課題2のところは非常にいいと思いますが、気になるところは、受入枠の設定です。このような地域特定の選択制において受入枠を設定してよいものかどうか、おそらく6年生ぐらいの子ども達だと友達がかっち行くんであったら行く可能性があるが、その場合、枠をオーバーした場合、公平なやり方としたら抽選になるでしょ。抽選になった場合は希望者が別々になる場合が考えられる。もう一つは、申請方法だが、学校で申請書を受理できないか。と思いました。
委員長	ありがとうございます。事務局いいですか。
主幹	はい。今、委員が言われたのは、最大受入枠を越えたらどうするのか1点目。申請書を学校で受理できないかというのが2点目ということでしょうか。

委員	はい。いいです。
主幹	まず、2点目については、運用のところになります。一つの案として、学校教育課に提出すると提示させていただきました。学校サイドと相談しなければならないが、可能かなと考えております。1点目ですが、最大受入枠です。資料3です。最大3クラス105名です。ただ、先ほども課長の方から申しましたように4クラスまではいけるのかなと思います。アンケートの中で2割の方が賛成という結果もいただいております。今年度、美和東小学校だと13人ほど、篠田小学校については10人程度でした。七宝小についても17・8人ほどです。あわせて40人ほどということになります。北中の105という数字がありますので、40人というのは十分受入できる数字だと思います。ただ、最大受入枠は設定した方がいいのかなと思いますが、40人ほどが現実的なのかなと考えています。
委員長	委員、よろしいでしょうか。
委員	はい。
委員長	あと、その他ありませんか。
各委員	発言なし。
委員長	それでは、議題2については、原案どおりでよろしいでしょうか。
委員	異議なし。(反対なし。)
委員長	異議なしということで、原案どおりとさせていただきます。
委員長	これで、本日の議題はすべて終了しました。本日は、長時間にわたり、いろいろなご意見をお聞かせいただき、ありがとうございました。それでは、「3番のその他」ですが、事務局から何かありますか。
学校教育課長	本日の議題の再確認をさせていただきます。 議題1につきましては、学校選択制の種類として「特定地域選択制。」選択可能区域としましては、「七宝小・篠田小・美和東小学校の学校区全域」です。導入の目標としまして、平成32年度を目標とします。よろしくお願ひします。 議題2につきましても、周知の方法なども含めまして、次回の委員会でも、ご意見いただきたいと思ひます。
委員長	ありがとうございます。
糸野委員長	平成30年度の地区委員会の委員はどうなりますか。
学校教育課長	委員の構成につきましては、引き続き継続して願ひします。内容につきましては、啓発・PR方法等についての検討や意見書作成等を考えております。

	会議の開催につきましては、2～3回を考えております。以上です。
委員長	ありがとうございました。
委員長	ここで、本日、原委員から意見書が提出されましたので、委員の皆様へ配布してください。
委員長	それでは、この意見書についてご説明をお願いします。
委員	はい。述べさせていただきます。 七宝北中学校地区委員会の皆様へ。平成29年度七宝北中学校地区委員会会議を経て、篠田小学校PTA本部役員一同の意見、また、今後の会議の在り方について要望を以下にまとめましたので提出いたします。(篠田小学校PTA本部役員一同から提出された要望・意見書を朗読・説明)
委員長	はい、ありがとうございます。この意見・要望に対して、ご意見ありますか。
委員	いいですか。今のご意見についてです。今、篠田のPTAさんから出されたのはわかりますが、これを前にもこういうものをまとめて、いずれにしてもPTAから前に出されて、これに対して、ご意見いただいて今回があります。今また、提出されたから、一からと、同じことになってしまうが、このあたりはどう思われますか。
委員	第一に、まだ土台ができていないのではなかろうかと思えます。この会議を5年間続けてきて、改善されているところが少ないと感じている保護者の方がいらっしゃる。そのあたりをもう少し、詰めなくてはいけないのではないかと考えます。
委員	今の話と若干、関係するかなと思いますので発言しますが、前回にも話しましたが、導入に関して課題が残っていると話したつもりですが、残念ながら、方向性が見えないと感じている。ただ、やることには反対はしないが、課題に対してどうしたらよいかという投げかけをしたつもりだったが、それがそのまま進めていくのかというのは、誰しもが不安や疑問があると感じられているのではないかと。地域コミュニティの問題がありますねと。何かあった場合、孤立しますね。と色々な問題がありますねというようなことを話しました。直接は関係ないかもしれませんが、これは必ず起きる問題なんですね。こういう問題を一つづつ潰すというか、少しでも和らげていくのが委員会の目的ではないかと思えます。選択制はやってみるべきだと思いますが、ただ、少しでも不安がないように解消すべきではないかと考えています。コミュニティの問題は取り上げていただきたい。

	跡になって、しまったと思わないようにやっていただきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。
主幹	委員の課題の検討は、運用に近いところがございますので、30年度にご意見をいただきたいと思います。
教育長	よろしいでしょうか。最後の6行ですか。私もまったくそのとおりだと思っています。しかし、まだまだ旧3地区という部分でのコミュニティで動いているのが現実です。従いまして、今回の適正規模化についても、3地区で検討させていただいたというか。現在進行中というか。どうしてもそのあたりが前に進むのに非常に難しい状況である。当然、子ども達がいるわけですが、子ども達の意識だとか当然大事にしないといけないので、時間をかけてやっています。コミュニティの在り方というか、先ほど委員がいわれたように、今あるコミュニティというよりも、今委員会をやっています、甚目寺東小学校・正則小学校でも大字をわけることが非常に難しい。子ども達がわかるということに対しての、色々な意見があって、非常に難しいところがあります。したがって、北中を知ってもらう、美和中を知ってもらうということをやって、選択してもらうような状況をどのように作っていくのが来年度の課題とっております。是非この辺のところを検討しながら進めていっていただけるといいのかなと、教育委員会としては思っております。
委員長	ありがとうございます。
委員	先ほど、委員が言われた件ですが、私も先回の時に十分検討すべきと話しましたが、残念ながら今日、それについて出されなかったということは、事務局の方から言われましたがこれからの問題点として検討していくということは理解できました。もう一点、コミュニティのことを言われたのですが、コミュニティというものがどういう風に考えられているのか、皆様にお聞きしたい。
委員	コミュニティとは地域間だけではなく人と人とのつながりが大事だと思っています。
委員	選択制入学導入案に関して課題点、改善に協力いただくべき学校、地域をあげさせていただきました。 議題2のところを審議するとあるが、審議しないのではないのか。全員受入ではなかったのか。

主幹	教育委員会にて通常の指定学校変更と同様に審議します。ところだと思いますが、審議しないということではということですね。これにつきましては、通常指定学校を変更する場合、様々な理由があつて変更しますが、それを教育委員会にて審議します。今回の選択制につきましては、指定学校指定願申請書の中に条件を加えて行います。従いまして、手続き上は審議という形となりますので、ここに審議しますと記載しています。審議承認と書かさせていただきました。
教育長	もう一つ付け加えです。審議承認ですが、生徒数を把握し教員数を報告しなければならないため、教育委員会で生徒数を把握するという側面もありますので、ご理解をお願いします。
委員	受入枠を設けないという質問だと思うのですが、
委員	それも含まれています。
委員	越えた場合の話がないということだと思いますが。
主幹	先ほど申しましたように、現実的には2割3割の人数を話させていただきました。最大枠は設けなくてはならないのかなと思いつつも、実際、3校合わせて40人程度を想定しています。おそらく超えることはないだろうと考えています。
委員	受入枠を超えないと考えているんですね。
教育長	そういう設定を考えています。従って、事前の調査はさせていただきます。最悪ということを考えろということだと思いますが。
委員	物事は最悪を考えなければまずいですね。
委員	今後、北中がすごく人気が出て、5年後には今の3倍・4倍の人数が選択をする場合があるとします。その時に兄弟が北中に行きたいとした場合、兄弟枠がいると思いますが、そういう場合のこととか不安があると思いました。
委員	協力していただくべきという中に、見守り隊がありますが、何をやるのですか。
委員	中学校への通学路が決まっていないうし、通学路がきちっと確保できるかどうかわからない状況で、そういうところをきちんとしてもらいたい。
委員	変わったところということですね。事務局に聞きますが通学路はきちっと決めておくわけですか。
主幹	そうです。他の中学校でも通学路は決まっています。
委員	最初のうちは誰かが立っててもらえないと。

委員	今、言われていることはこれから検討していくことで、部分的なことでしょう。大枠を決めて進んでいく中で、こういう問題は出てくるので、通学路の問題にしても、制服の問題にしても、部活動の問題にしても、いっぱい出てくる。そういうことはこれから十分議論検討すればよいのではないかと。
委員	始めた当初は、美和東小や篠田小の校区を分けてという感じだったんですが、進めていくうちに、選択制ということになったのは、保護者・子ども達にとって選択できるということはいいことかなと感じています。あとは、どのように周知していくのか、理解していただく方法が大事だと思います。
委員	宝小としましては、色々な課題があることがわかりましたので、子どもたちにとって一番良い方向で進めていけたらと考えています。
委員	3回しか出席していませんが、今まで意見書や質問等のコピーをいただいています。その回答は委員会ではないのですか。
主幹	委員会でいただいた質問等についてはお答えしていますが。
委員	基本的には、いい事だと思います。詳細は、その都度検討して実施したらよいのではないかと。
委員	先ほどの委員の話から、関係する保護者や子どものことを第一に考えなければならないので、選択するにあたって問題が起こりうるであろう質問がありましたが、地域で疎外されやすい。他の地区がどのように解決されたのか。疎外されにくいように解決されたのか。事前の対応はどのようにされたのかを提示していただくと保護者や子ども達は安心するのではないかと思います。
委員	課題が多くありますが、子ども達にとってよりよい方向に向かうのがよいと思います。コミュニティということが先ほどからでてますが、学校でも人と人のつながりを大切にしていきたいと思っています。
委員	いろいろと問題点があると思いますが、委員から提出された意見書の中にもありますが、あま市の未来を担う子ども達とありますので、やはりそれに対して、一生懸命に検討していきたいと思っています。
委員	私もそう思います。篠田小の方々が危惧されていることは、おそらく皆さんも思っておられることだと思います。お願いしたいことは事務局のもっと丁寧な説明をしていただければ、理解していただけるのではないかと。皆さんの思いは子どもたちを幸せにしていこうという思いだと思います。

委員	<p>選択制ということは行きたい人は行ってください。行きたくない人は行かなくていいよ。ということだと思います。反対の意見が多いようですが、行きたいという人の意見も重視しなくてはいけないのではないかと。行きたいと言う人がいる以上、この話に関しては、何も問題がなく選択制という形で行けばよいのではないかと。と思います。それに対して、なぜ否定的な事をいうのかわかりません。一つ質問ですが選択制をとった場合、避難所はどうなるのか。</p>
主幹	<p>他のところでもその質問はありました。その時に、担当課に確認をさせていただきました。避難所としては近いところに行ってもらえれば良いです。とのことでした。</p>
委員	<p>当初、反対と言っていたのは学区変更についてであったと思います。学区変更の後に出てきたのが選択制です。今回である程度の方向性はでてきたのかなと思っています。その後の課題については来年度に深く議論しておこうということですので期待しています。しかし、他地区では問題が起こっているところもあります。問題を少しでも和らげる方策をもたなければならぬと考えます。</p>
委員	<p>子ども第一に考えているとは思いますが。すべての問題点は解決するものではないと考えています。通学路に関して子どもに聞いてみました。やっぱり危ないところはあるそうです。少しでも安全に登校できればと思います。</p>
委員	<p>子ども達にとって、よりよい教育環境ができるように、持ち帰ってみんなで考えたいと思います。</p>
委員	<p>土台のところを共通理解ができたことは、道筋がみえたなどと思います。皆さんが心配されることもごもっともだと思います。</p>
委員	<p>反対ばかりではなく、七宝北中学校のことも知ってというふうに提案していただいておりますし、問題点は問題点として解決しながらというのは必要なので、全部が整ってからスタートと思われるのですが、行くのはこちらなので最低限の事は、保護者と子どもたちが安心してきちんと不安のないようにいきたいと話をしていきますのでご理解ください。</p>
委員	<p>意見いう方は限られているので、全体の場は全体として、その後、分かれて話し合ったら前進していくのではないかと。と思います。</p>
先生	<p>篠田小のPTAの方々には不安が渦巻いている。また、わからずに不安をもっている保護者の方もいらっしゃる。委員がいわれたように、七宝北中学校を知らずに不安になっている。提案</p>

	<p>されたように、七宝北中学校を知ろうというところで、学校公開等開放してもらえる機会があれば、そこに出向いて学校を知るとなれば、保護者にとっても大きな情報を得ることができるのではないか。と思っています。</p>
委員	<p>委員がおっしゃるように、学校を知っていただくのは、ぜんぜん構いませんので、是非、来ていただくのはいいと思っています。委員の方ばかりではなく、皆さんにも学校公開日には来ていただく方向で進めていってもらいたいと思います。一番知って欲しいことは、七宝中・美和中に進む子どもたちに知ってもらいたい。宝小・秋竹小は様々なことで交流していますが、選択するにあたっては、子ども達の意見を大事にしてほしいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これで、本日の議題はすべて終了しました。本日は、長時間にわたり、いろいろなご意見をお聞かせいただき、ありがとうございました。以上をもちまして、第2回七宝北中学校地区委員会を閉会します。</p>